

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月18日			
平成15年度	事業コード	23210	電話	042-769-8229
担当部課名	市民部	交通安全	課	
事務事業名	違法駐車等防止啓発費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第3章	安全に暮らせる都市の実現をめざしまう	事業開始年度
基本施策名	第2節	安心して暮らせるまちづくり	11年度
施策名	第1施策	交通事故の無いまちづくり	

2 実施根拠及び関連法令等

道路交通法、相模原市違法駐車等の防止に関する条例

3 事務の区分

自治事務	4 経費の区分	5 事務事業の分類	6 受益者負担
	その他の経費	市単独事業	なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
違法駐車を防止することにより、道路が広く一般交通の用に供されることを確保し、市民の安全で良好な生活環境を保持することを目的とする。	重点区域
	対象数 3
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
啓発物品の購入 324千円 重点区域駐車場マップ作成 690千円 防止啓発活動委託 9,665千円 合計 10,679千円	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	違法駐車台数の減少率	違法駐車台数の減少率/平成12年度違法駐車台数減少率×100	究極の成果とすれば減少率100%であるが、目に見えて成果があった平成12年度と比較した指標設定とした。	100	84	96	100	105
	活動指標	啓発活動の延べ人数/平成12年度啓発活動の延べ人数×100	啓発活動の延べ人数の増減により、市民サービスの指標とする。	100	130	125	113	113

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	平成12年度 決算	平成13年度 決算	平成14年度 決算	平成15年度 予算	平成16年度 予算(見込み)
事業費	9,076	12,583	9,776	9,038	9,000
	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人	0.2人
	1,678	1,678	1,678	1,678	1,678
	10,754	14,261	11,454	10,716	10,678
特定財源					
対象数	2	3	3	3	3
対象の単位あたり経費	5,377.0	4,753.7	3,818.0	3,572.0	3,559.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 B ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低
		説明				
(2)必要性 評価 B ▼	A:適応している	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっていない			
	B:一部適応していない		<input type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している			
	C:適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない			
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある			
(3)有効性 評価 B ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である			
	B:一部有効でない		<input type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている			
	C:有効ではない					
		説明				
(4)効率性 評価 B ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている			
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている			
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている			
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない			
(5)公平性 評価 A ▼	A:公平である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である			
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である			
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)			
		説明				
成果向上の余地			事業費削減のために取り得る手段と削減額			
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 警察による厳格な取締りがあり、交通安全関係団体の協力や、地元自治会等の地域団体の協力があれば成果は向上すると思える。		手段			
			削減額	千円		

11 総合評価

評価	A ▼	他自治体の類似事業との比較
今後の進め方		他市の違法駐車防止啓発関係費(平成14年度予算) ・横浜市 150,895千円 ・川崎市 24,501千円 ・横須賀市 11,200千円 ・厚木市 7,140千円 ・平塚市 10,744千円 ・藤沢市 18,866千円 ・茅ヶ崎市 8,736千円 ・海老名市 13,311千円
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	事業費削減手段として述べたように、県(警察)行政の範囲と考えられるので、警察による厳格な取締りがあれば、事業自体大きく見直しが可能と思われるが、当分の間、県行政の予算が好転するとは思えない。したがって、交通安全関係団体の協力や、地元自治会等の地域団体の協力要請を、より一層進めるとともに、庁内各課へも働きかけを行いたい。また、啓発方法も、平成15年度から見直しを行う予定である。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--